

児童相談所関連研修「児童心理司（1～2年目）」（第2回）

【日時】	令和2年11月2日（月）、5日（木）9：00～17：00
【会場】	特別区職員研修所
【受講者数】	55名
【講師】	<ul style="list-style-type: none"> ・愛育研究所 客員研究員 山本 恒雄 氏 ・武蔵野大学 心理臨床センター 臨床心理士 上原 由紀 氏 ・千葉県柏児童相談所 職員
【研修内容】	<p><目的></p> <p>児童心理司（1～2年目職員）として求められる役割を理解すると共に、基礎的な知識・スキルを身につけ、面接・心理検査等を通じた子どもと保護者の状態の的確な把握、アセスメント及び他職種・他機関との連携によるケースへの対応力を習得する。</p> <p><内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ①心理診断の反映及び申立書の添付書類への心理所見の書き方 ②子どもの治療的ケア ③家族再統合を進める上での児童心理司の役割 ④施設に入所している児童の問題行動への対応 <div data-bbox="1019 1034 1350 1279" style="text-align: right;">  </div> <p style="text-align: right;"><講義の様子></p>
【受講生の声】	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の対応で迷いや悩みがたくさんあったが研修に参加して自分に足りない考え方やアプローチを知ることができました。 ・これまでのケース対応を振り返ることができたり、より良い対応の仕方を学ぶことができました。 ・基本姿勢を押さえることができました。区の実情と重ねながらできることを考えていきます。 ・実践的な内容から児相の考え方、理論まで幅広く学ぶことができました。 ・久しぶりに心理の視点から考える機会をいただいて、改めて心理の仕事、支援の仕事は魅力的だなと感じることができました。 ・基本的な知識を学ぶだけでなく、これからの心理職のあり方について考える機会になりました。 ・支援者としてのスタンスや心理教育、解決志向アプローチの知識は今後とても役に立つと思うので実践していきます。